



スピнкаラム自動処理装置 『QIAcube』 使用説明会

この度、共同利用機器として疾患プロテオゲノム研究センターに導入されました QIAGEN スピнкаラム自動処理装置（QIAcube）の説明会を開催いたします。

QIAcubeは、既存のQIAGENスピнкаラム操作の自動化を実現する卓上タイプの自動化装置です。全学共通機器として設置されている次世代シーケンサー（HiSeq1500）用の試料として求められる高純度のゲノムDNAを自動で精製することが可能で、その他にもプラスミドDNA、トータルRNA、miRNA、ウイルス核酸、タンパク質の精製、DNAやRNAのクリーンアップまで幅広いアプリケーションに対応しています。

QIAcube専用消耗品を組み合わせることで、現在お使いのQIAGENキットをそのまま使用できるため、新たなキットの買い替えの必要はなく、また、精製条件の再検討の必要もありません。最大12サンプルの同時精製が可能で、スピнкаラムでの精製に付きっきりになっていた時間を、より有効にご利用いただけます。

本機器の使用説明会を下記の通り行いますので、ご興味のある先生方は是非ご参加下さい。

日時 平成**25**年**5**月**8**日（水） **14：00～16：00**

場所 疾患プロテオゲノム研究センター 1F 交流ホール

講師 キアゲン株式会社 アプリケーション担当 多和田 泰樹 氏

- 内容
1. 自動処理装置使用説明
 2. メンテナンスについて
 3. 質疑応答

問い合わせ先： 疾患プロテオゲノム研究センター ゲノム制御分野 小松正人／片桐豊雅

内線: 9476 e-mail: komatsu@genome.tokushima-u.ac.jp

株式会社 大一器械 佐々木 快（電話:088-656-8124）